

尾張西部地域広域的な地域活性化基盤整備計画

計画概要

◆計画期間

平成20年～平成24年(5年間)

◆計画の目標

国際・広域交流基盤を活用した物流の円滑化及び地域産業構造の転換による地域競争力の強化

- 名古屋港や東海北陸自動車道などの国際・広域交流基盤を活用した物流機能の強化
- 隣接県等との広域連携推進による既存産業の高度化・高付加価値化や新たな産業の育成
- 国際・広域交流基盤へのアクセス道路の整備と都市間の連絡強化に資する幹線道路の整備

◆計画の成果目標(定量的指標)

指標①:名古屋港における年間取扱貨物量を208百万トン(H18)から230百万トン(H24)に増加

指標②:西尾張地域における集積業種全体の付加価値額を5,600億円(H19)から6,400億円(H24)に増加

評価内容

◆交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	事業費※	事業の実施状況	進捗率※
基幹事業(道路)	3,858百万円	国道155号(愛西市・津島市内)の交差点改良を始め14箇所の道路整備を実施。用地交渉難航等のため予定よりやや遅れて進捗。	77%
提案事業	17百万円	国際物流推進事業を実施。 尾張西部地域産業活性化推進事業を実施。	100%
合計	3,875百万円		

※事業費は実績額

※進捗率(%)は各事業の計画に対する実施割合【基幹事業(道路)は、延長ベース】

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況 (別紙1)

- ・(国)155号(愛西市・津島市内)等の交差点改良事業により、朝夕の慢性的な渋滞が緩和され、地域間の円滑な交通に寄与した。
- ・(一)境政成新田蟹江線(弥富市内)のバイパス整備事業により、伊勢湾岸道から国道23号への交通が分散され、名古屋港や高速道路網へのアクセス性が向上に寄与した。
- ・(都)北尾張中央道(一宮市内)のバイパス整備事業により、旧尾西市街地から東海北陸自動車道へのアクセス性の向上に寄与した。
- ・国際物流推進事業(総合物流対策推進調査)の実施により、物流コストや輸送時間等の現状を把握し、物流効率化や環境負荷低減の観点から、効果的な物流拠点の配置や立地促進策を検討し、荷主等への働きかけに活用した。
- ・尾張西部地域産業活性化推進事業(地域振興産業立地調査)の実施により、産業立地地区の交通アクセス、土地利用規制等の立地環境を分析するとともに、工場跡地の有効活用方策等を検討し、本地域の市町村への普及啓発に活用した。

Ⅱ 定量的指標の達成状況

指標①(「物流機能」:名古屋港における年間取扱貨物量)

最終目標値	230百万トン (H24)	目標値と実績値に差が出た要因	平成20年のリーマンショックの影響により、平成21年の完成自動車をはじめとした取扱貨物量の大幅な減少が目標値に達しなかった大きな要因と考えられるが、平成24年には名古屋港鍋田ふ頭第3バースが供用を開始し、コンテナ貨物の増加に対応するなど、平成21年以降の取扱貨物量は着実に増加している。(H21:165百万トン⇒H24:203百万トン)
最終実績値	203百万トン (H24)		

指標②(「付加価値額」:西尾張地域における集積業種全体※の付加価値額)

最終目標値	6,400億円 (H24)	目標値と実績値に差が出た要因	本地域は、自動車部品製造企業のほか、南部には我が国を代表する航空宇宙関連企業等が立地し、輸送機械関連産業の集積が進むとともに、交通インフラの充実を背景に物流関連産業の集積が進んでおり、集積業種のうち、主に輸送機械器具製造業や情報通信機械器具製造業の付加価値額の増加により、目標達成することが出来た。
最終実績値	6,669億円 (H24)		

※企業立地促進法の基本計画による指定業種を対象

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)

・(国)155号(愛西市・津島市内)の交差点改良事業の実施により、当該交差点における死傷事故件数が減少し、交通事故の防止が図られた。

「町方新田交差点」及び「江西町交差点」における死傷事故件数:13件(H17~H19)⇒7件(H22~H24)

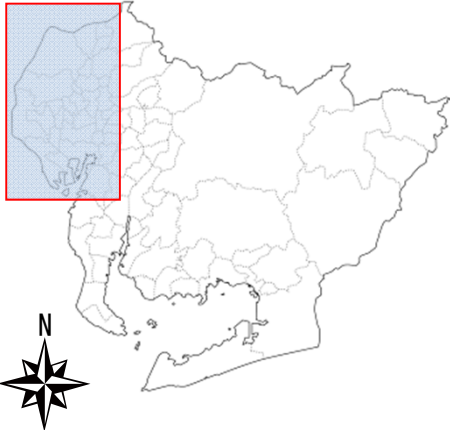
◆今後の方針

- ・未完了の道路事業については、他計画等に位置づけ用地交渉等の継続により早期整備完了を目指す。
- ・東海北陸自動車道などの広域ネットワーク構築や供用区域の先線の整備等より事業効果の高い区間を優先的に事業を推進していく。

◆事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	策定主体にて評価を実施。なお、計画の各要素事業(基幹事業)については、愛知県公共事業評価実施要領に基づき評価を実施。
事後評価の実施時期	平成27年3月
公表の方法	WEBページ掲載 (http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-kikaku/kouiki/kouikiteki.html)

参考図面

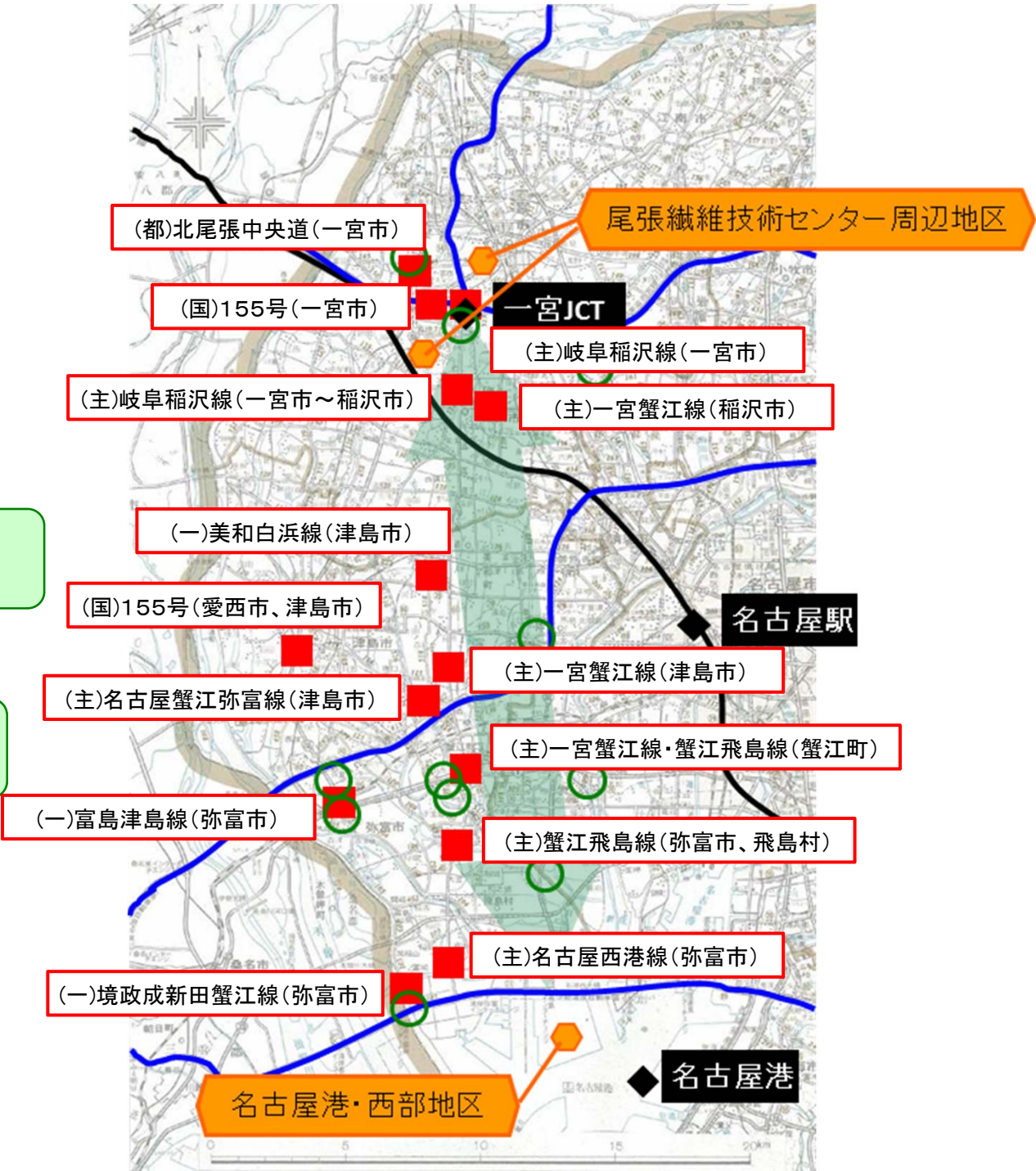


名古屋港や高速道路への
アクセス強化等

物流機能の強化
地域産業の育成

凡 例

- 拠点施設
- 基幹事業
- 関連事業
- ◆ 主要施設
- 高速自動車道
- ▨ 高速自動車道(事業中)
- 東海道新幹線



【基幹事業】

- 事業名 国道155号 交差点改良事業
- 事業概要 国道155号は西尾張中央道とともに尾張西部地域を南北に結ぶ主要幹線道路であり、東名阪自動車道や国道1号と接続する当地域の重要な路線となっている。当該箇所は信号交差点に右折車線がなく、交通渋滞の要因となっているため、本事業により右折車線(2箇所)を設置することにより、交通渋滞の緩和を図るものである。
- 事業期間 平成20年度
- 事業箇所 愛西市・津島市
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 朝夕、右折車によって直進阻害され、慢性的に渋滞が発生していた「町方新田交差点」及び「江西町交差点」において、直進車が右折車に阻害されて渋滞した時間が解消され、地域間の円滑な交通に寄与した。



整備前



整備後

江西町交差点 整備前・整備後の状況



【町方新田交差点】

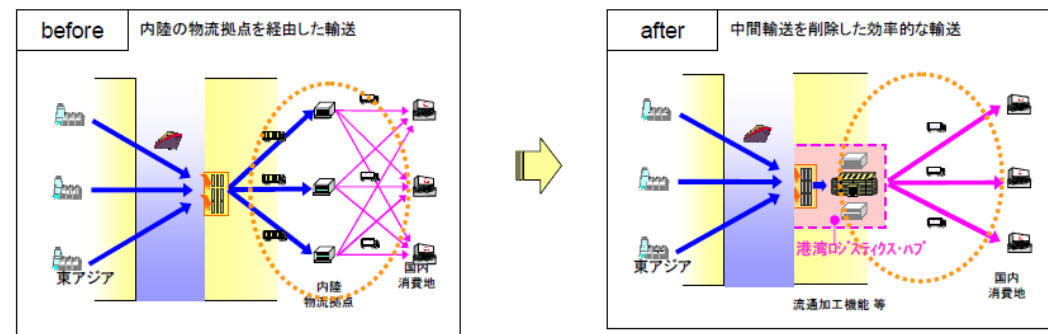
平日の朝ピーク1時間における青信号1,800秒間のうち、直進車が右折車に阻害されて渋滞した時間：無し(0秒)
(調査日時：平成27年3月9日(月)AM7時～AM8時)

【江西町交差点】

平日の朝ピーク1時間における青信号2,160秒間のうち、直進車が右折車に阻害されて渋滞した時間：無し(0秒)
(調査日時：平成27年3月9日(月)AM7時～AM8時)

【提案事業】

- 事業名 国際物流推進事業
- 事業概要 総合物流対策推進調査
 - ・物流コストや輸送時間等の現状把握
 - ・物流拠点の配置・立地促進策を検討 など
- 事業箇所 尾張西部地域はじめ
- 事業主体 愛知県
- 事業効果 物流コストや輸送時間等の現状を把握し、物流効率化や環境負荷低減の観点から、効果的な物流拠点の配置や立地促進策を検討し、荷主等への働きかけに活用した。



総合的・複合的かつ高度な物流サービスを提供する総合物流輸送のイメージ